

62 ツバメチドリ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Glareola maldivarum

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

南アジアからインドシナ半島、中国、モンゴル、シベリア東部、日本、台湾などで繁殖し、繁殖後はマレー半島からオーストラリアなどに渡り、越冬する。日本には主に春秋の渡りの時期に渡来する他、一部が沖縄で繁殖する。また、本州中部以南でも繁殖することがある。干潟や農耕地、埋立地、河原などに生息し、砂礫地で営巣する。飛びながらトンボやハエ、ガなどの昆虫類を主に採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、★南あわじ市、加東市、★たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では3-10月に記録がある。1952年8月と53年8月には姫路市妻鹿海岸で7羽の記録があり、1954年まで渡来していた。その後は、県中・南部で単独-数羽が断続的に記録されていたが、最近の記録は極めて少ない。

保護上の留意点

広い干潟や砂礫環境の保全が重要。